

第22回 ヤンマー学生懸賞 応募期間 2011年6月1日(水)~10月20日(木)

# 論文・作文募集



テーマ “進化する農へ挑戦 創ろう 活かそう 価値を未来へ” ~生命を育む「食」、食を生み出す「農」、環境を守る「農山漁村」~

## 趣旨

私どもヤンマーグループは、日本農業が転機を迎えていた1990(平成2)年、厳しい中にも21世紀への夢と希望を持ち、先駆的な挑戦を試みる元気な農家やその集団が全国各地に誕生しつつあることに気づき「いま 日本の農業がおもしろい~その変化と対応~」を当社のスローガンとして、積極的に未来を語りエールを送ってまいりました。

その一方で、次代を担う若者たちに農業と農村の未来について大いに議論していただくようとして始めたのが、「学生懸賞論文・作文募集事業」でした。その後私どもを取り巻く環境も大きく変わり、議論のテーマも「食料の自給、農業の再生、都市と農村の暮らし」等へと変わってきました。

現在、日本の国内のみならず世界レベルで、食料・資源エネルギー・環境・地球温暖化等の問題がクローズアップされています。そのため、論文・作文のテーマを平成20年から、「農が変わる農が応える 今 未来への布石」とし、一層の議論の輪を広げてまいりました。

当社も、日本の農業が変わり行く中、「その変化と対応」を実行し、「未来への布石」を打ってまいりました。そして、様々な進化していく新たな「農」へ挑戦していくとともに、ソリューション活動により、新たな価値を創造し、お客様の収益の最大化を追求し続けております。

日本の農業は、今まさに、次の展開へ新たな一歩を踏み出そうとしております。私どもは、進化する「農」を、未来へ繋いでいくという想いから、この度、新たなテーマを掲げました。そして、論文・作文では、学生の皆様に進化する「農」を、広く自由な観点で論じていただくために、引き続き副題として「生命を育む「食」、食を生み出す「農」、環境を守る「農山漁村」~」を掲げております。

本事業も今回で22回目を迎えます。夢と若さのあふれる提言を数多くお寄せいただきたいと思います。

## 最終審査委員(五十音順、敬称略)

【各部門共】

岩田 三代 (いわた みよ)

日本経済新聞社編集局生活情報部編集委員 [食・暮らし]

梅田 幹雄 (うめだ みきお)

京都大学キャリアサポートセンター特任教授・

京都大学名誉教授 [農業機械工学]

佐藤 年緒 (さとう としお)

(独)科学技術振興機構(JST)「Science Window」編集長・

日本科学技術ジャーナリスト会議 副会長 [環境・科学技術]

生源寺 眞一 (しょうげんじ しんいち)

名古屋大学大学院教授 [農業経済学]

矢澤 進 (やざわ すずむ)

京都大学名誉教授・京都学園大学教授 [農学]

※応募作品は社内で一次、二次審査を行い、上記の最終審査委員による最終審査をいたします。

※但し、作文の部 奨励賞につきましては、社内二次審査で決定いたします。

## 応募資格

【論文の部】

大学、大学院、短期大学、農業大学校、農業短期大学、各種専門学校に在籍する30才以下(平成23年10月20日現在)の学生。ただし、外国からの留学生は35才以下。

【作文の部】

農業大学校、農業短期大学に在籍する25才以下(平成23年10月20日現在)の学生。

## 応募先

〒530-8311 大阪市北区茶屋町1-32

ヤンマー株式会社

ヤンマー学院内「学生懸賞論文・作文募集係」宛

論文の部 大賞 100万円

作文の部 金賞 30万円

後援 : 農林水産省 財団法人 都市農山漁村交流活性化機構 社団法人 全国農村青少年教育振興会

問合わせ

フリーダイヤル

0120-376530

(月~金 10:00~17:00)

e-mail

ronbun@yanmar.co.jp

パソコンから

http://www.yanmar.co.jp

ヤンマー論文作文

検索

携帯から

QRコードに  
アクセスして  
ください。



※当社のホームページには、第18回~21回入賞作品集を掲載しております。